

訂正：輸送影響の運休本数につきまして数値誤りがございました。

お詫びして訂正させていただきます。申し訳ございません。

※上下計 80 本→上下計 86 本

2025年6月18日

東日本旅客鉄道株式会社

東北新幹線 宇都宮～那須塩原駅間 回送列車（E8系）が故障した事象について

6月17日（火）11時24分頃、東北新幹線を走行中の回送列車（E8系7両編成）で車両故障が発生し、宇都宮～那須塩原駅間で停車しました。当該車両は、自力走行ができなかったため、駅間に停車した後続列車のお客さまのご誘導や当該車両を移動させる措置を行い、17時00分に全線で運転を再開しました。多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

本事象について、これまでに判明した状況をご報告します。

1. 概況【別紙1】

6月17日（火）11時24分頃、東北新幹線を走行中の回送列車（上野発・盛岡行 E8系7両編成）で車両故障が発生し、宇都宮～那須塩原駅間で停車しました。運転士が車両点検を行ったところ、自力走行ができない状態であることを確認しました。

そのため、後続のはやぶさ17号の隣に、上り列車のなすの274号を停車させ、はやぶさ17号にご乗車中のお客さまは、渡り板を使用してなすの274号にお乗り換えいただきました。

はやぶさ17号の後続列車であるやまびこ57号は宇都宮駅まで退行運転を行いました。

並行して、検修係員が当該車両の処置を行い、自力走行が可能な状態となったため、単独編成で那須塩原駅まで運転しました。その後、17時00分に全線にて運転を再開しました。

本事象により、お怪我をされたお客さまや体調を崩されたお客さまは確認されておりません。

2. 輸送影響

本事象により、東北・山形・秋田新幹線の上下計86本が運休し、約54,700人のお客さまにご迷惑をおかけしました。

3. 故障した回送列車

営業車両として使用する前の確認走行を行っていました。

(1) 車両形式

E8系（7両編成）

(2) 車両メーカー

川崎車両株式会社

(3) 走行履歴

落成：2025年6月10日

確認走行：2025年6月16日（1回目）、6月17日（2回目：今回）

4. 推定原因【別紙2】

補助電源装置が故障して主変換装置に電力が供給されなくなったため、主変換装置内にある冷却装置が動作せず、回路保護機能が作動しました。これにより、車両を動かすためのモーターを駆動することができず、走行不能に至りました。補助電源装置の故障原因の詳細については調査中です。

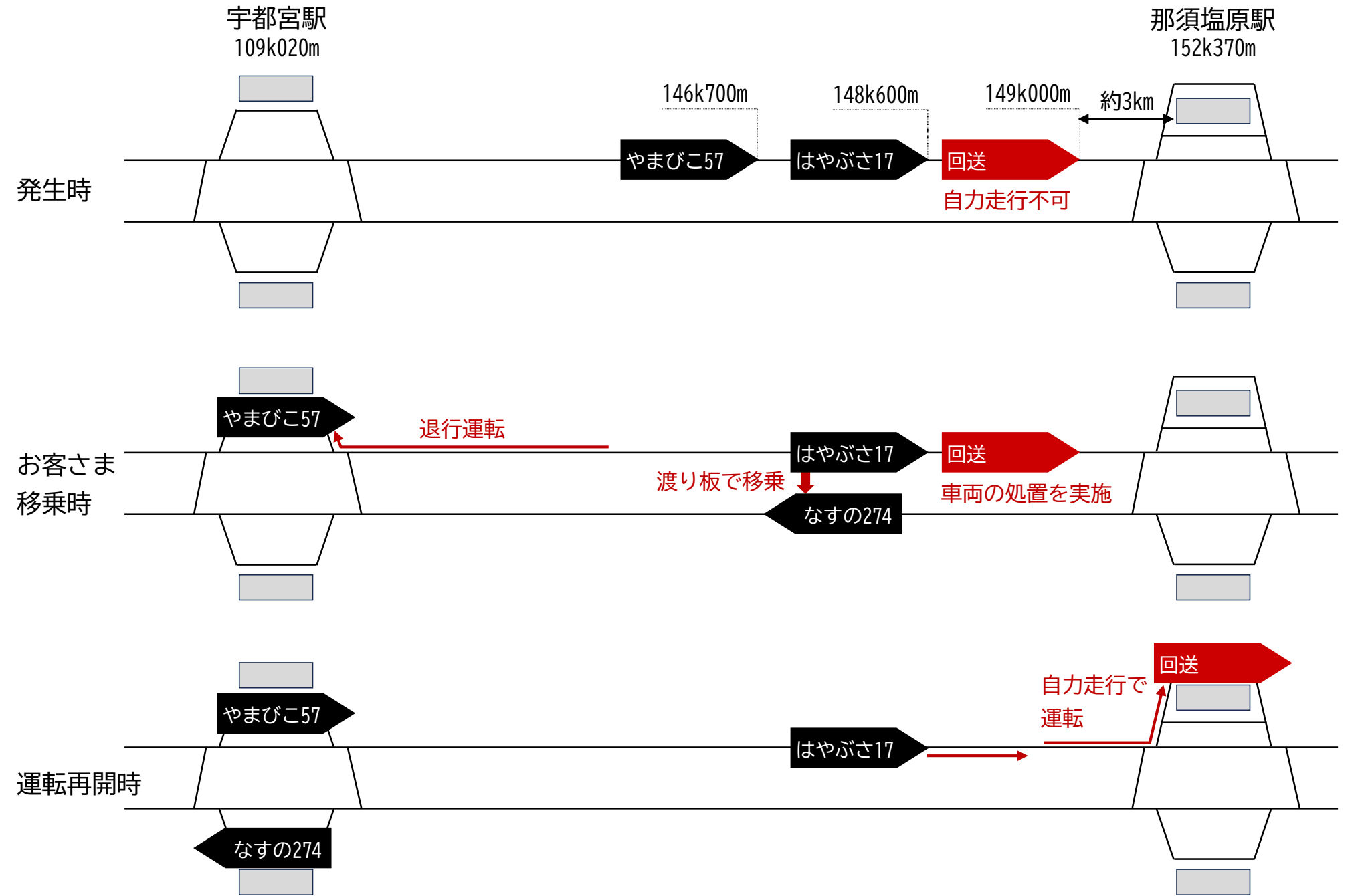
なお、東北新幹線宇都宮～那須塩原駅間で故障した当該の回送列車のほか、小山駅停車中であつたつばさ136号（E8系）、郡山駅停車中の回送列車（E8系）、山形新幹線福島～笹木野駅間を走行中であつたつばさ139号（E8系）においても車両故障が発生しており、これらとの関連性についても調査しています。

5. 今後の対応

原因が判明するまでの間、新幹線区間及び在来線区間においてE8系の単独運転を全て取りやめます。速やかかつ確実に原因究明を行い、必要な対策をとってまいります。

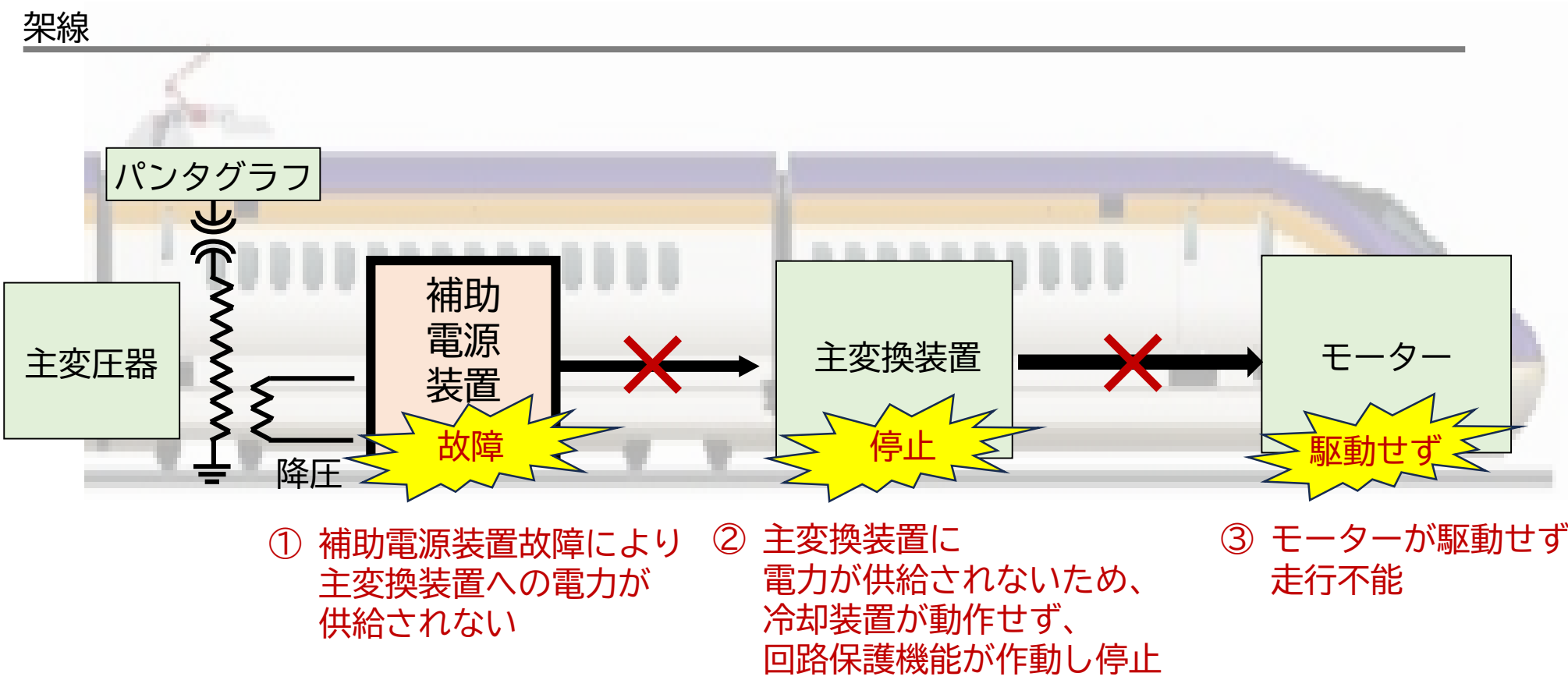
多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

別紙1 列車位置



別紙2 走行不能に至った推定原因

補助電源装置が故障して主変換装置に電力が供給されなくなったため、主変換装置内にある冷却装置が動作せず、回路保護機能が作動した
→車両を動かすためのモーターを駆動することができず、走行不能に至った



- 主変圧器 : 架線から集電した電力を車両の各回路に合わせた電圧に変換して供給する装置
- 補助電源装置 : 車両の各機器に必要な電力を供給する装置
- 主変換装置 : 台車のモーターを駆動するための制御装置
- 回路保護機能 : 主変換装置のオーバーヒートを防ぐための機能